

七夕の星と銀河たち

七夕伝説で知られる織姫星と彦星、そして二つの星を隔てる天の川。これらは全て「天の川銀河」と呼ばれる非常に大きな天体（銀河）の一員です。本講演では、宇宙の立体映像（Mitaka）を使って七夕の星や銀河たちを訪ね、最新の銀河の研究を紹介します。講演終了後は、「荒木望遠鏡」による天体観望会の実施を予定しております。私立大学最大の望遠鏡で、夜空の旅をお楽しみください。

日時	7月6日（土） 18:00-18:45 ※晴天時は、講演後に荒木望遠鏡による天体観望会を実施します。 (19:00~21:00)
講師	吉川 智裕（本学博士研究員）
場所	京都産業大学神山天文台（京都市北区上賀茂本山）
お申込み	事前予約不要・無料
対象	お子様連れでもお楽しみいただけます

全国同時七夕講演会は、7月7日の七夕の夕方を中心とした前後の期間中に、全国各地で同時に講演会を開催し、天文学の普及の輪を広げようとするもので、日本天文学会と天文教育普及研究会との共催事業として、本学天文台が実施するものです。